

事務事業名	定住対策促進事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
政策名	総合計画体系系 (I) 市民と行政の協働によるまちづくり《住民自治》	所属G	地域振興グループ	課長名	小川 忍
施策名	(02) 定住・交流の推進	担当者名	鳥谷健二	電話番号 (内線)	0854-40-1013 3518
基本事業名	(005) 移住のための情報提供・相談の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 01 1 0 05 65 03	定住対策促進事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)					
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	定住相談の総合窓口として3名の専属スタッフ(定住推進員)を配置し、空き家等の住居情報の提供や就業・就農支援、定住後の生活サポートなどを行った。また、東京・大阪・広島での定住相談イベントへ参加し、雲南市の定住支援情報を発信した(定住協議会へ委託)。	合併以前より、各町において定住対策の取り組みが行われており、大東町では定住支援センターによる施策展開が図られ、木次町では定住推進員が配置されていた。					

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬 6,120千円 (定住推進員3名分)</li> <li>報償費 1,508千円 (空き家調査協力員謝礼)</li> <li>旅費 449千円 (費用弁償等)</li> <li>需用費ほか 230千円 (消耗品、携帯電話料 等)</li> <li>委託料 2,721千円 (定住フェア、定住サイト)</li> </ul>	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 (A) 千円			3,500	3,400	2,000		
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費							
定住相談への対応(住居情報の提供、就業就農支援)、定住フェア参加、食の幸交流イベント、空き家登録、定住者へのフォロー、ホームページの運営等	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計 (B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円		4	4	4	4		
			726	579	1,011			
			2,769	2,251	3,985	0	0	
			7,579	9,810	15,013	9,787	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 定住相談への対応(住居情報の提供、就業就農支援)、定住フェア参加、食の幸交流イベント、空き家登録、定住者へのフォロー、ホームページの運営等 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 23年度と同様	⑤ 活動指標							
		ア 相談件数	件	148	113	165	170		
		イ 空き家調査数	件	36	37	358	50		
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市へ移住を考えている人</li> <li>市内で移転先を考えている人</li> <li>空き家の活用を考えている人</li> </ul>	⑥ 対象指標							
		ア 相談件数	件	148	113	165	170		
		イ 空き家登録数	件	26	27	85	30		
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>雲南市へ定住してもらう</li> <li>空き家を定住者用住宅として活用してもらう</li> </ul>	ア 定住された人数	人	68	70	86	90		
		イ 定住者の定着率	%	97	99	97	100		
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>雲南市へ移住してもらう</li> <li>雲南市を好きになってもらい、まちづくりを応援してもらう</li> </ul>	ア 転入者人口	人	1036	951	796			
		イ 市外から移住された人数(定住推進員が相談を受けたもの)	人	32	24	55			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
田舎暮らしを希望する都会のUIターン希望者が増加しており、相談件数が年々増加している。また、高齢化が進む集落が増加しており、後継者対策が喫緊の課題となっている。	産業振興部などの関係部局や関係団体との連携強化を図るため、定期的に担当者レベルの会議を行い情報共有に努めている。また、定住相談イベント等へ積極的に参加し、雲南市の魅力発信に努めている。	定住相談のワンストップ窓口として対応していることから定住希望者に喜ばれており、実績も上がっている。

事務事業名	定住対策促進事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 雲南市では、定住人口の維持(H26目標値45000人)を目指しており、市の施策と合致している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 定住人口の維持・確保は、地域活力の増進を図る上で必要不可欠であり、雲南市の優先課題である。空き家紹介については、民間で行う場合、営利を伴うため良質な空き家しか相手にされず、増加する空き家を有効に利用することができない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象は予見できない。現状のとおり、定住希望者(相談者)に対し、必要な情報を提供する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 地域自主組織と連携し空き家ストックの確保を図る。産業振興部と連携し、就業就農支援の充実を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 人口減少がさらに進む。 空き家が増加し、地域が衰退する。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 現状以外他に事業がない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小減のもので対応している。 国、県費の導入努めている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 相談件数が増えている上、一軒家(空き家)や農地などニーズも多様化しており、休日も含め即時対応している。ニーズ対応のための空き家等の情報収集・調査についても精力的に実施しており、これ以上の人件費削減は難しい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 定住相談者には全て平等に対応している。空き家についても、広く活用の呼びかけを行っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	定住推進員によるきめ細やかな対応により、移住・定住実績が上がっている。空き家活用ニーズが増加しており、地域自主組織等と連携し、物件の確保に努めていく必要がある。就業就農情報を求められるケースが増えており、産業振興部との連携を強化し対応していく必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 定住推進員を増員配置し、定住希望者に対しきめ細かい対応を図る。 空き家活用について、地域自主組織等と連携し物件確保に努めるとともに、空き家改修補助制度の活用を促進し、空き家ストックの有効活用を図る。 産業振興部等と連携し、就業就農支援制度の確立を図る。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 空き家ストックの確保を図るため、地域自主組織と連携し空き家情報を収集する。
--